

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 1

令和元年5月27日

西部農林振興センター県央事務所農業普及部

標 題	矢上高校で石見和牛プロジェクトが開始 ～和牛審査研修会～
-----	------------------------------

(ダイジェスト)

5月10日、県立矢上高等学校において、石見和牛プロジェクトの一環として和牛審査研修会が開催されました。

(公社)全国和牛登録協会島根県支部から講師を招き、同校産業技術科生徒13名を対象に和牛審査のポイントを学びました。今後も牛の調教や受精卵移植の研修を計画しており、農業普及部としては引き続き技術指導を通して担い手の育成・確保に取り組めます。

地域を担う畜産人の育成及び地域農業の活性化を目的として、平成31年3月に県立矢上高等学校、JAしまね島根おおち地区本部、邑南町及び島根県西部農林振興センター(川本家畜衛生部、県央事務所農業普及部)により「石見和牛プロジェクト」(以下「PJ」とする)が設立されました。PJでは4者が連携し、和牛に関する専門知識の習得や第12回全国和牛能力共進会に向けた取り組みを推進していくこととしています。

本PJの一環として5月10日(金)、邑南町の矢上高等学校において、産業技術科の2、3年生を対象に、和牛の産肉性や種牛性を外貌から審査する、和牛審査研修会が開催されました。

研修会では(公社)全国和牛登録協会島根県支部から講師を招き、同校で飼養している和牛繁殖雌牛を用いて、和牛の審査の目的や方法を説明していただきました。

当日は好天に恵まれ、非常に暑い中でしたが生徒たちは熱心にメモをとっており、後半の質疑の時間では種雄牛や調教に関する事など積極的に質問がありました。

なお同校は、6月11日(火)に開催される島根県農業クラブ連盟家畜審査競技県大会に出場を予定しており、今回の研修で学んだ生徒たちの健闘が期待されます。

今後は牛の調教や受精卵移植の研修を計画しており、農業普及部としても、引き続き情報提供や技術指導を通じて新たな担い手の育成・確保に取り組んでいきます。



【和牛審査の説明を受ける生徒たち】



【外貌審査のポイントを教わる生徒たち】